



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所



レンゲ畑とこいのぼり

撮影 藤井富江さん 撮影日 平成27年5月

撮影場所 沼田東町片島



エヒメアヤメ
撮影 和田一彦さん 撮影日 平成27年4月
撮影場所 沼田西町松江



春の野の輪

撮影 山野上 拓夢さん 撮影日 平成27年4月
撮影場所 本郷北四丁目



海の玄関

撮影 森平康則さん 撮影日 平成27年5月

撮影場所 三原内港

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 4日(木)(必着)
応募資格 市内に在住か通勤・在学の学生
募集枚数 1人1枚
選考 総務広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ

▶長髪を切る顧客に呼び掛け、寄付を募ります



一人でも多くの子どもに笑顔届けたい
病气やけがが原因で髪を失った子どもたちに、人毛を使った医療用ウィッグ(かつら)を無償で贈るヘアドネーション活動。大阪市のNPO法人ジャーダック(JHDAC)の呼び掛けで、現在、全国約250店舗の美容院が活動に賛同し、顧客から寄付された毛髪や寄付金を送っています。宮浦で美容室を営む木下民江さんもそのひとり。仕事仲間から話を聞き、「美容師だからこそできる社会貢献」とすぐに参加しました。

ウイッグの提供を受けた子どもは、最寄りの美容院で希望の髪形に仕上げます。「いつか自分の店で子どもの喜ぶ顔が見たい」と木下さん。一人でも多くの子どもに笑顔届けようと呼び掛けを続けます。
問い合わせは、木下さん ☎0848-648139(まで)。

昨年11月に活動を始め、店を訪れた顧客に声を掛けて寄付を募っています。テレビや新聞で活動が紹介され、市外から訪れる人も増えました。「切った髪を郵送してくれた人もいる」と感激します。
ウイッグ1個を作るのに要する髪量は20〜30人分。しかも31cm以上の長さが必要です。これまで送ることができた髪は35人分。「順番を待っている子どもたちのためにも、まだまだ集めたい」と木下さんは力を入れます。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。

一人でも多くの子どもに笑顔届けたい



病气の子どもたちのため医療用ウィッグになる髪を送る 木下民江さん